



IP エージング

この章の内容は、次のとおりです。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用した IP エージングポリシーの設定 \(1 ページ\)](#)
- [NX-OS スタイル CLI を使用した IP エージング ポリシーの設定 \(2 ページ\)](#)
- [REST API を使用した IP エージングの設定 \(2 ページ\)](#)

概要

IP エージング ポリシーは、エンドポイントの未使用の IP アドレスを追跡しエージングが行われます。トラッキングはブリッジドメインに設定されたエンドポイント保持ポリシーを使用して実行され、ローカルエンドポイントエージング間隔の 75% で、ARP 要求 (IPv4) やネイバー要請 (IPv6) を送信します。IP アドレスから応答を受信しなかった場合、その IP アドレスはエージングアウトします。

このドキュメントでは、IP エージング ポリシーを設定する方法について説明します。

GUI を使用した IP エージングポリシーの設定

このセクションでは、IP エージング ポリシーの有効と無効を切り替える方法について説明します。

手順

- ステップ 1** メニューバーで、**System** タブをクリックします。
- ステップ 2** サブメニューバーで、**System Settings** をクリックします。
- ステップ 3** ナビゲーション ウィンドウで、**Endpoint Controls** をクリックします。
- ステップ 4** 作業ウィンドウで、**Ip Aging** をクリックします。
IP Aging Policy が、**Administrative State** の **Disabled** ボタンが選択された状態で表示されます。
- ステップ 5** **Administrative State** で、次のオプションのいずれかをクリックします:

- **Enabled**— IP エージングを有効にします。
- **Disabled**— IP エージングを無効にします。

次のタスク

エンドポイントの IP アドレスを追跡するために使用される間隔を指定するには、エンドポイント保持ポリシーを作成します。**Tenants > *tenant-name* > Policies > Protocol** に移動し、**End Point Retention** を右クリックし、**Create End Point Retention Policy** を選択します。

NX-OS スタイル CLI を使用した IP エージング ポリシーの設定

このセクションでは、CLI を使用した IP エージング ポリシーを有効および無効にする方法を説明します。

手順

ステップ 1 IP エージング ポリシーを有効にするには：

例：

```
ifc1(config)# endpoint ip aging
```

ステップ 2 IP エージング ポリシーを無効にするには：

例：

```
ifav9-ifc1(config)# no endpoint ip aging
```

次のタスク

エンドポイントの IP アドレスをトラッキングするために使用される間隔を指定するには、エンドポイント保持ポリシーを作成します。

REST API を使用した IP エージングの設定

このセクションでは、REST API を使用した IP エージング ポリシーを有効および無効にする方法を説明します。

手順

ステップ 1 IP エージング ポリシーを有効にするには：

例：

```
<epIpAgingP adminSt="enabled" descr="" dn="uni/infra/ipAgingP-default" name="default"
ownerKey="" ownerTag=""/>
```

ステップ 2 IP エージング ポリシーを無効にするには：

例：

```
<epIpAgingP adminSt="disabled" descr="" dn="uni/infra/ipAgingP-default" name="default"
ownerKey="" ownerTag=""/>
```

次のタスク

エンドポイントの IP アドレスをトラッキングするために使用される間隔を指定するには、次の例のように XML で `post` を送信することによって、エンドポイント保持ポリシーを作成します。

```
<fvEpRetPol bounceAgeIntvl="630" bounceTrig="protocol"
holdIntvl="350" lcOwn="local" localEpAgeIntvl="900" moveFreq="256"
name="EndpointPoll" remoteEpAgeIntvl="350"/>
```

